

情勢報告（平成28年4月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

シシトウ栽培講習会の開催



熱心に内容を聞いています

3月24日、J A土佐れいほく園芸部シシトウ部会は、大豊町ふれあいセンターとJ A土佐れいほく本所で栽培講習会を開催し、計38戸の生産者が参加しました。

講習会ではJ Aから作付計画やエコシステム申請様式作成について説明し、普及所は定植準備、初期管理、28年度に取り組む実証試験などを説明しました。

参加農家からは、「露地で使える天敵はどのようなものがあるか」「病害虫や整枝・誘引の分かるカラー資料が欲しい」などといった質問・要望が出され、参加者と活発な情報交換ができました。

普及所は、整枝・誘引方法や天敵利用の実証ほを設置し、栽培技術の向上に取り組んでいきます。

花きの現地検討会を開催



現地検討会の様子

4月8日、J A土佐れいほく花卉部会は、現地検討会を開催し、部会員4戸が参加しました。会では、嶺北地域のオリジナル品種である‘ノーブル’の他、トルコギキョウ等の栽培ほ場を巡回し、意見交換を行いました。

普及所からは、‘ノーブル’で問題となっている葉枯れ病や防除対策実証ほの計画について説明しました。また、‘ノーブル’新系統の栽培計画や品種登録申請に向けた方向性についても意見交換しました。生産者からは「より防除効果の高い実証結果を期待している」、「育成してきた‘ノーブル’新系統が登録申請できるまでに固定されてきた。今後、品種登録を検討していきたい」などの声がありました。

嶺北地域の花き生産は、今後夏秋期にかけて収穫最盛期となりますが、普及所では継続して支援をしていきます。

新たな活動への取り組み ～伊勢川集落営農組合～



定植風景

昨年度から普及所が、販売先の紹介や加工方法について支援したチョロギの栽培に今年度から伊勢川営農組合（土佐町）が本格的に取り組むことになりました。

集落内のハウスの一部を活用して、3月8日に生産者8名で定植作業を行いました。さらに、女性が主体となり、露地栽培にも取り組んでいく予定です。

今後は、チョロギの計画的な収穫、加工、販売拡大への活動支援を行います。